

花垣ルミさんをノーベル平和賞授賞式に送る派遣カンパを
寄せていただいたみなさまに感謝をこめて報告します

花垣ルミさんはオスロにて獅子奮迅の活躍をされ、核兵器も戦争もない世界を訴えました

厳しい寒さが続いています、みなさまにおかれましてはつつがなくお過ごしのことと存じ上げます。みなさまから寄せられたカンパで、花垣ルミさんをノルウェー・オスロでの2024年ノーベル平和賞授賞式ツアーに送ることができましたこと、心から御礼申し上げます。花垣さんは大役をはたして12月13日に帰国され、元気に過ごされています。

花垣さんは12月7日に日本をたち、8日夕刻、オスロに到着。翌9日から11日まで滞在して、精力的に活動されました。9日にはオスロ図書館で被爆証言、メディア取材に応じ、市民と一緒にトーチパレードに参加。京都の職人が銅板で作成した折り鶴を贈呈。10日は授賞式のパブリックビューイングに参加しました。

そして、最終日の11日ノルウェーの若手国会議員を対象にして被爆の実相を語りました。さらに急きょ、ガザから避難してきた若手ジャーナリストとの対談が実現。ひとり避難して、食べ物もなく寝ることもできないガザの同胞を置き去りにしてきたことに後ろめたさを感じている青年に対して、「被爆者も一緒なの。でも諦めたらだめ」と懸命に語りかける花垣さん。そしてガザの青年とハグする姿を、立ち上がった千人の聴衆の拍手と歓声、指笛が包み込みました。この獅子奮迅の活躍ぶりは、ぜひ「報告会」で花垣さんの生の声でお確かめください。

花垣さんは「被爆80年の2025年は大きな節目。ノーベル平和賞受賞を跳躍台にして日本に核兵器禁止条約にサインさせるような大きな運動を」と決意されています。私たちも花垣さんとともに「戦争の停止」「核兵器廃絶」「日本政府の核兵器禁止条約参加・批准」にむけて、引き続き奮闘することをお誓いし、みなさまへの感謝と今後の決意とさせていただきます。

2025年1月15日

花垣さんをノーベル平和賞授賞式に送る会
よびかけ人

梶川 憲（京都総評議長）

渡辺賢治（京都原水協筆頭代表理事）

平 信行（京都被爆二世・三世の会世話人代表）

中島 晃（非核の会京都共同代表）

西島秀向（京都府生協連会長）

追記1 3月23日（日）午後に「報告会」を予定しています。

追記2 「花垣ルミさんをノーベル平和賞授賞式に送った記録集（仮題）」の編纂を予定しています。そこに掲載するみなさまの「日本被団協ノーベル平和賞受賞に寄せて」の原稿をお願いいたします。メールまたは別紙原稿用紙で送ってください。締切：3月31日。

メールの送付先：hikaku-kyoto@nifty.com

【連絡先】 非核の政府を求める京都の会 〒606-83978 京都市左京区聖護院川原町4-13 教育会館別館
電話&FAX：075-771-0729 メール：hikaku-kyoto@nifty.com